

令和8年7月2日

会員各位

東京都理化教育研究会
会長 中野 清吾
(東京都立広尾高等学校長)

東京都理化教育研究会 化学講演見学会のお知らせ

平素から本研究会の活動に対し、ご協力頂きありがとうございます。さて、標記の件につきまして、下記により開催致しますので是非ご参加ください。今年度は、収容人数の関係上、先着25名までとなりますので予めご了承ください。なお、化学講演見学会への参加は研修出張の扱いが可能です。

記

- 主催 東京都理化教育研究会
- 講師 武蔵大学 リベラルアーツ&サイエンス教育センター
専任講師 遠藤 瑞己 氏
- 日時 令和8年7月23日(木) 13:00~17:00
- 場所 武蔵大学 江古田キャンパス 9号館3階 9302室
東京都練馬区豊玉上1-26-1
西武池袋線「江古田駅」南口より徒歩6分、「桜台駅」南口より徒歩8分
都営大江戸線「新江古田駅」A2出口より徒歩7分
西武有楽町線「新桜台駅」2番出口より徒歩5分
中野駅より関東バス江古田駅行「江古田駅」下車徒歩5分
高田馬場駅より関東バス・国際興業バス赤羽駅行「豊玉北」下車徒歩5分
- 時程 (1) 12:30 受付開始
(2) 13:00~ 化学講演見学会
- テーマ 歴史でひもとく化学実験
- 内容 化学の実験手法や器具は、長い歴史の中で形成されてきました。しかし、その歴史的背景が十分に語られる機会は多くありません。本講演では、実験手法や器具に着目し、化学教育における歴史活用の意義や、国内外における近年の取り組みを紹介します。また化学史を活用した授業実践の一例として、クロマトグラフィーを用いた実験を取り上げます。植物色素の研究から生まれたクロマトグラフィーの歴史的展開を解説するとともに、ほうれん草から色素を抽出し、クロマトグラフィーによってクロロフィルや関連色素を分離する実験を行います。授業における話題提供や探究活動のヒントとしてご活用ください。
※ 内容は変更となる可能性もあります。
- 申込 下記のQRコードまたは、formsのリンクからお申込みください。

[申込先]
東京都理化教育研究会 化学講演担当
折霜 文男

<https://forms.office.com/r/twvxgEA1Zu>

締め切り 7月22日(水)
※ 定員25名になり次第締め切りとなります。

[問い合わせ先]
化学講演担当 折霜 文男
Fumio_Orishimo[a]education.metro.tokyo.jp

